

2026/09/04/ 発行



青森県 言語聴覚士会

令和8年度上半期

広 報 誌

トピックス

言語聴覚士の役割

話し方を
教える職業？

食事の訓練も
するの？

リハビリ
だから歩く？



言語聴覚士とは「話す」リハビリだけではなく...

話す・聞く・食べる を支える専門家!!

生活に直結する支援

呂律が回りづらい方への発声練習、飲み込みが難しい方への嚥下訓練など、生活する上で欠かせないリハビリを行います。小児から高齢者まで幅広く支援し、その人らしいコミュニケーションと生活を支えます。



こんな症状 ありませんか？

- ・ 食事中にむせることが増えた
- ・ 言葉が出にくい
- ・ 声がかすれやすい
- ・ 飲み込みに時間がかかるなど...



ことばや飲み込みに関するお困りごとがありましたら、私たち言語聴覚士がサポートします。お気軽にご相談ください→→→





活動報告



5/31

八戸支部 交流会

情報共有&切磋琢磨



八戸支部では、久しぶりに支部内のメンバーが集まり、各施設の様子や取り組みを共有しました。

他の職場の話聞くことで新しい気づきを得られ、こうした場の必要性を改めて感じたという声もありました。

6/6.7

歯と口の健康週間キャンペーン

参加者には オリジナルシール！



歯科医師会主催のイベントに高齢者向けの情報や子供向けのリハビリ体験コーナーを用意し参加しました。

2日目には言葉に悩みを抱えている方が相談に来られ、STを知っていただく良い機会になりました。

7/12

市民の健康祭り

試食コーナーで 嚥下食をあじわう



雨模様の日でしたが、多くの方が来場し、各ブースは大盛況でした。体験や試食を通して「ことば・聞こえ・食べる」への理解が広がり、幅広い世代の笑顔に出会える温かいイベントとなりました。

お知らせ

イベントや研修会
など

第2回青森県言語聴覚士会学術大会

「原点から進化へ」をテーマとし、多様化する社会ニーズや最新知見を柔軟に取り入れることで、私たちが進むべき「進化」の道を共に探求したいと考えております。

- 開催日：10月4日（日）
- 参加締め切り：9月18日（金）まで
- 参加費：県士会会員3000円
県士会非会員4500円
学生：無料

一般社団法人 青森県言語聴覚士会
第2回 青森県言語聴覚士会学術大会
2026 10/4 会場：弘前医療福祉大学
大会長：山田 大介 弘前総合医療センター
『摂食嚥下リハビリテーションの原点と進化』
エビデンスに基づく最新訓練手技の最新情報
福岡 達之先生 広島国際大学 言語聴覚療法専攻教授
『自閉スペクトラム症(ASD)の言語習得を再考する』
松本 敏治先生 教育心理支援教室・研究所 ガジュマルつがる
テーマ 『多角的な視点でつなぐ小児STの支援—各フィールドの役割と連携のカタチ—』
シンポジスト 『地域における子どもST 岩手の私の場合』
(基調講演) 松田 輝美先生 一般社団法人アクティビティわて アクティブキッズ
古内 洋先生 あすみ訪問看護ステーション
シンポジスト 工藤 瞳子先生 NPO法人Sky こどもデイサービスセンター-Sky
阿部 修人先生 医療法人春仁会 十和田第一病院
問い合わせ先：八戸市立市民病院内 大高美貴 TEL:0178-72-5260 Email:otaka.niji.miki@gmail.com

「脳卒中と秋祭り」 令和8年度

脳卒中の後遺症に向き合う当事者の方々が交流できる場をつくり、病気への理解と予防の大切さを広げることを目的としたイベントです。

- 開催日：10月12日(月・祝) 11:00~15:30
- 場所：八戸市まちなか広場マチニワ

※本イベントは脳卒中と向き合う活動団体 One Feelsが主催し、当会は後援として協力しています。

ご意見フォーム

よりよい運営のために、みなさまの声をお待ちしています。
回答はGoogleフォームで1~2分程度、匿名で行えます。



アンケート回答QRコードはこちら



事務局連絡先

一般社団法人 青森県言語聴覚士会 事務局

〒030-8553 青森市東造道2-1-1 青森県立中央病院 リハビリテーション科内

TEL: 017-726-8188 (リハ直通) FAX: 017-726-8325 mail:secretariataokst23@gmail.com